

京都市版「個別支援ファイル」

記入のしかた

「個別支援ファイル」は、「情報共有シート」と、「相談・診療」、「心理判定」、「教育」、「福祉サービス」「就労支援」の6つの領域で構成されています。
ここでは、「情報共有シート」について、記入のしかたをご説明します。

◆活用の記録

情報共有シート 活用の記録

☐ 「情報共有シート」を提出して、いつ、どこ、誰と、連携したかを記録し、経過を把握しやすくしましょう。

記入例

年	月日	連携先	担当者	連携の目的	他に提供した資料
2019年	4月8日	◆◆小学校	2-1 担任 ◎◎先生	支援計画立案 支援計画にカリッ 個別相談 その他()	心理判定報告書 相談・診療用 連絡シート 1年運動会のDVD
	4月10日	放課後等デイ 「☆☆」	管理者 □□さん	支援計画立案 支援計画にカリッ 個別相談 その他()	心理判定報告書 相談・診療用 連絡シート

インデックスの次ページは、情報共有シートを提出して、いつ、どこ、誰と、どんな目的で情報共有・連携をしたか、記録できるようになっています。

◆1ページ目（基本情報）

情報共有シート

～特性理解と支援方針の共有のために～

この「情報共有シート」は、連絡や進学、就労、サービス利用を新しく始める時などに、**どれまでのご本人の様子や、工夫・支援の積み重ねを伝えるためのもの**です。
シートは、ご家族・ご本人が作成し、ファイルに綴じて保管します。
シートを用いて情報を共有することによって、環境の変化によるご本人の戸惑いや不安を軽減し、切れ目のない支援の実現に向けて共通理解を深めていきましょう。

記入日：2020年 4 月 2 日

記入者：京都花子 本人との関係：父・母・その他()

基本情報

フリガナ 本人氏名	フリガナ 保護者 氏名
キョウト タロウ 京都 太郎	キョウト イロウ 京都 一郎 続柄 ◎・母・()
生年月日 年齢	生年月日 年齢
2012年 5月 5日生 記入日現在 7 歳	京都花子 続柄 ◎・父・()
住所 京都市(中京)区 上本能寺前町488番地 ヴェンシアコ501	
連絡先① 075- 222- XXXX (自宅)・父・母・その他()	
連絡先② 090- 4321- XXXX 自宅・父・母・その他()	
服薬 なし・あり()	
アレルギー等 忌避・注意事項 ⑤・あり：卵・牛乳・小麦 その他()	
現在通っている園や学校等	
種別	名称
保育園・幼稚園・ (学校) 中学校・高校 特設支援学校・その他	〇〇小学校 記入日現在の学年(2年)
電話番号	担任・担当
075- 333- XXXX	京都花子先生

※ 上記以外の利用機関(療育・福祉サービス、医療等)については、4ページに記入欄があります。

個別支援ファイルの対象となるご本人に関する、基本的な情報をまとめます。

服薬についてのより詳しい情報は、「お薬手帳」が参考になる場合があります。
ファイルのいちばん後ろのチャック付ポケットに、お薬手帳を入れておくのもオススメです。

シートを記入した時点での、平日・日中の最も長い時間を過ごしているところを書いておくとい良いでしょう。

◆2、3ページ目

◆私（本人氏名 京都 太郎 ）は、こんな人です！

興味・関心、好きなこと・もの、はまっていること・もの 妖怪のキャラクター（四国娘）が大好き（これも、いろいろな種類を覚えています） 水族館で「クワガ」を見るのも好きです（これも、いろいろな種類を覚えています）	
得意なこと・強み	苦手なこと・弱み
・見て覚えることが得意 ・基本は明るく元気なタイプ ・興味深い空想が得意	・言われたことに耳（頭）に入りにくい ・興味あるものが目に入ると、周りが見えなくなってしまう

◆配慮が必要なことと、その対応方法

※あてはまることに☑を付け、様子を記入しましょう。他は未記入でかまいません。

☑	場面・状況	わかりやすい方法や安心できる手段（あてはまるものに☑）	具体的に記入（あれば）
☐	活動の予定や変更を理解することがむずかしい	☐活動で使うものを見せる ☐活動の写真や絵を見せる ☐文字で書いて伝える ☐事前に予定や変更を伝える ☐その他	具体的に記入（あれば）
☑	活動をどのようなやりかたで行うか、理解することがむずかしい	☐やって見せる ☐動画を見せる ☐写真や絵を見せる ☐文字で書いて伝える ☐本人が納得するまで待つ ☐聞きはいつできるかを伝える ☐その他	具体的に記入（あれば） You tube を見せたら、すぐ苦手に。この手のものは覚えられました！
☑	活動途中で切り替えることがむずかしい	☐次の予定を伝える ☐タイマーなどで時間を区切る ☐本人が納得するまで待つ ☐聞きはいつできるかを伝える ☐その他	具体的に記入（あれば） おきかえ（はまり）を区切る前に、次の予定や動きがどうなるかを伝えておく、わりと覚えやすいです。
☐	自分のスペースや、どこで活動するのがわかりにくい	☐専用の場所やコーナーを作る ☐家具やカーテンなどで仕切る ☐マットを置いて目立たせる ☐マークや名札を付ける ☐その他	具体的に記入（あれば）
☑	欲しいものや、やりたいことを伝えることがむずかしい	☐本人が伝えやすい方法 ☐ものを持ってくる ☐指さし（または手でさす） ☐絵・写真カードを見せる ☐言葉で伝える（書く・言う） ☐その他	具体的に記入（あれば） 興味あるものを、持ちまわす前に、告知とわかってもらうことがあります。

2

配慮が必要なことと、その対応方法（つづき）

☑	場面・状況	わかりやすい方法や安心できる手段（あてはまるものに☑）	具体的に記入（あれば）
☑	困っていることや、助けてほしいことを伝えることがむずかしい	☐本人が伝えやすい方法 ☐相手の体や手を引く ☐指さし（または手でさす） ☐絵・写真カードを見せる ☐言葉で伝える（書く・言う） ☐その他	具体的に記入（あれば） 具合が悪くなると、どこかへいってほしいか、選抜服を着たいか、書いておくと（頭、かな、など）選抜ます。
☑	活動に集中することや、じっとしていることがむずかしい	☐ひとつの活動を短くする ☐おわりまでの見通しを示す ☐思い切り動ける時間を作る ☐集中しやすい活動に変える ☐その他	具体的に記入（あれば） ひとつの活動を短くする、おわりまでの見通しを示す、思い切り動ける時間を作る、集中しやすい活動に変える、それにより、集中が保たれて、おわりまで頑張ります。
☑	かんしゃくを起こしやすい	☐かんしゃくを起こしたら、静かな場所に移動する ☐好きな活動で気分転換する ☐その他	具体的に記入（あれば） かんしゃくを起こしたら、静かな場所に移動する、好きな活動で気分転換する、それにより、かんしゃくが起きにくくなります。
☐	読み・書き・計算が極端に苦手	☐課題の量を減らす ☐時間を短縮する ☐書きやすい道具を選ぶ ☐大人が読み上げてあげる ☐タブレットなどICTを使う ☐その他	具体的に記入（あれば）
☑	苦手な感覚がある（⑤） （聴覚・味・におい・目に入るものなど）	☐苦手な感覚はなるべく避ける ☐予測できる場合は伝えておく ☐イヤーマフや耳栓を使う ☐その他	具体的に記入（あれば） 聴覚・味・におい・目に入るものなど、苦手な感覚はなるべく避ける、予測できる場合は伝えておく、イヤーマフや耳栓を使う、それにより、苦手な感覚が軽減されます。

3

◆いま 困っていること、対応・工夫を相談したいこと

本人の様子、困りの内容	その後の変化
妖怪のキャラクター（四国娘）が大好き、グッズをたくさん持っているが、お気に入りの四国娘のグッズが壊れてしまったので、新しいグッズを探しています。	（ 年 月 記入）

◆その他、ぜひ知っておいてほしいこと

やんちゃに見えるが、気持ちには繊細で、思い描いたとおりにできないと、へこたれやすくなります。こまめに様子を見て、励ましてあげると、がんばります。
--

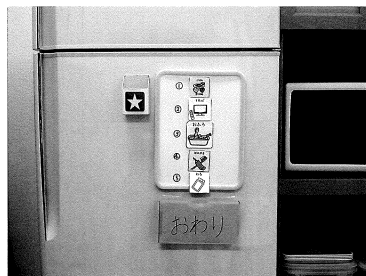
より具体的に伝えるために、画像を添付しておくのも良いでしょう。
補足資料貼付シートを使ってください。↓

情報共有シート 補足資料貼付用

補足資料 No. (2)

家では、絵カードを使って、学校から帰ってから寝るまでの流れを示しています。

冷蔵庫に貼り付けてあり、自分で見に来て確かめ、次の行動に移れています。



補足資料 No. (8)

学校では、先生に質問があるときは、メモに書いて渡すことが多いです。

2月の参観日のときに質問する場面があったので、動画に撮らせてもらいました。

添付のDVDを参照してください。

ご本人らしさを思い浮かべながら、まとめてみましょう。
最初書きにくい時は、他の項目から始めて、最後にもう一度、考えてみるのも方法のひとつです。

ご本人にとって、配慮が必要なことと、その対応方法に☑をつけます。
具体的な様子は、必要に応じて記入してください。

スマホやホームビデオなどで撮った動画を活用するのも、伝わりやすい方法です。

◆4ページ目

療育・福祉サービス、医療等の利用状況

※共有したいことは【 】に○印を付け、記入しましょう。他は未記入でかまいません。

【○】現在利用しているところ			
種別	名称	主な内容	利用頻度
療育機関・放課後等デイサービス・移動支援・通所・入所・その他	デイサービス 〆	宿題タイム、おやつ、グループワーク、ゲームなど	2回/週・月
療育機関・放課後等デイサービス・移動支援・通所・入所・その他	〇〇児童館	アスレチック、レール、など	1回/週・月
療育機関・放課後等デイサービス・移動支援・通所・入所・その他	ハレバステーション 〇△□	水族館、遊園地、公園など	2回/週・月
療育機関・放課後等デイサービス・移動支援・通所・入所・その他			回/週・月
療育機関・放課後等デイサービス・移動支援・通所・入所・その他			回/週・月

【○】手帳	
療育手帳	なし・申請中・あり(A・B)
精神障害者保健福祉手帳	なし・申請中・あり(1・2・3)級
身体障害者手帳	なし・申請中・あり(種 級)

【○】医学的診断		
診断名	診断時期	診断機関・診断した Dr
自閉症スペクトラム	2016年12月ごろ 年齢(年 歳 月 日)	機関名: △△クリニック Dr 名: (〇〇) 医師
ADHD 傾向	2019年9月ごろ 年齢(年 歳 月 日)	機関名: 児童福祉センター Dr 名: (××) 医師

【○】現在かかっている医療機関(発達に関する相談・診療)		
名称	相談・診療の主な目的	Dr・担当
〆 東京都児童福祉センター	自閉症スペクトラム、ADHDの経過をふまえて(コンサートの対応あり)	×× 医師

1 ページ目の、おもな通園・通学・通所先のほかに利用しているところがあれば、この欄に記入しておきます。ご本人に対して、どの機関が、どのように関わっているかを伝えやすくなります。

シートの項目にある内容はもちろん、ファイルに綴じた情報は、すべて伝えなくてもいいものではありません。相手先に知っておいてほしいことを選んで記入して構いません。

ご本人やご家族がいま最も困っていて、理由を探りたいことや対応を相談したいことを記入します。

理由を探り、対応を工夫してみた**その後の変化**についても記入しておくといでしょう。

ほかに、情報を共有する相手先に「これはぜひ知っておいてほしい」と思うことを記入しておく、ご本人への支援・指導の方向性について、話し合うポイントがしぼりやすくなるかもしれません。

どんなことを書いたら、本人の様子が伝わるかな？

こういう書き方で、共有できるかな？・・・

ぜひ「活用説明会」(次ページ参照)にご参加ください！

ファイルやシートを追加で入手する方法

京都市発達障害者支援センターかがやきにて配布しています。

※ ほかの配布拠点やファイルの在庫状況など、ファイル配布に関する最新情報は、かがやきのウェブサイトでご確認いただくか、かがやきへお問い合わせください（電話 075-841-0375）。

シート類のみ、発達障害者支援センターかがやきウェブサイト、および京都市情報館ウェブサイトよりダウンロードもできます。

個別支援ファイル活用説明会

「個別支援ファイル活用説明会」では、ファイル導入の趣旨、シートの書き方や情報共有のポイントをご説明し、ご質問も受け付けます。

開催日程や申込方法等の説明会の詳細については、発達障害者支援センターかがやきウェブサイトでご確認ください。

発達障害者支援センター かがやき



「個別支援ファイル」についてのお問合せ先：

京都市発達障害者支援センター かがやき

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町 1-20 COCO・てらす 1 階

電話：075-950-0378 FAX：075-950-0372

（受付時間：年末年始を除く平日 9～12 時／13～17 時）